

地域活性化起業人 — 令和6年度活用事例集 — ぱ い ぽ

総務省 地域力創造グループ
地域自立応援課

目次：R6年度 地域活性化起業人制度活用事例集（副業型）

事例集No.	都道府県	市町村名	派遣元企業	活動分野
No.1	北海道	訓子府町	株式会社AgrilInnovationDesign	13.中間支援機能に関する業務（地域商社支援など）
No.2	岩手県	奥州市	株式会社商い創造研究所	8.地域経済活性化・雇用対策・人材育成・企業誘致等
No.3	岩手県	奥州市	株式会社賑わい創研	8.地域経済活性化・雇用対策・人材育成・企業誘致等
No.4	茨城県	河内町	キーウェアソリューションズ株式会社	7.移住促進・都市農村交流・交流人口の拡大等
No.5	山梨県	丹波山村	株式会社NTTドコモ	10.DX（自治体DX・地域DX）
No.6	岐阜県	山県市	株式会社Specialist Entertainment	10.DX（自治体DX・地域DX）
No.7	岐阜県	山県市	株式会社Specialist Entertainment	12.教育
No.8	沖縄県	北中城村	株式会社リブル	4.農林水産（農業・畜産業・林業・水産業振興等）



株式会社AgrilInnovationDesign 脇坂 真吏

×



北海道 訓子府町

地域活性化起業人 基本情報



【年 齢】 41歳

【活動時期】 R6.5～ R7.3

【入社年度】 H23年入社
勤務年数13年（R6.12.26時点）

【派遣元企業での業務や培ったノウハウ等】

- ・新規事業のプロデュース及び運営
- ・地方創生に関するプロデュース及び運営
- ・農業支援に関するプロデュース及び運営
- ・廃校のプロデュース及び運営
- ・地域商社のプロデュース及び運営
- ・マルシェのプロデュース及び運営 など

取組内容・成果

●訓子府町まちづくり会社設立準備

任務がまちづくり会社設立をすることですので、今年度は訓子府町の様々な町民、事業者、議員などにお話を聞かせていただき町の伸びしろを探して事業計画を練る前準備をしていきました。



●第1回くんねっぷ牧場ミニマラソン

訓子府町のまちづくりの一環として、伸びしろがある町営牧場の有効活用を考え実施したのが本企画。普段は立入禁止の牧場の中を1周8km走るマラソン大会を企画。道外も含めて68名の応募がありました。新しいことが起きにくい町で多くの方が協力してくれて実現することができました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

訓子府町 経済振興室

E-mail keizai@town.kunneppu.hokkaido.jp

TEL 0157-33-5008

【活動の様子はnoteにて発信中】

<https://note.com/wakisakamasato/m/m5adb82406c44>

【派遣元企業の担当者連絡先】

(メールアドレス) info@nougyou.tv



商い創造研究所

株式会社商い創造研究所 松本 大地

×



岩手県 奥州市

地域活性化起業人 基本情報



【年 齢】 72歳

【活動時期】 R6.9～ R9.8

【入社年度】 H27年入社
勤務年数10年（R6.9.1時点）

【派遣元企業での業務や培ったノウハウ等】

国内において数々の都市計画、公共空間、商業施設の企画や運営を手掛け、エリアマネジメントによる賑わいと地域経済の好循環の創出において日本を代表する知見を有している。経済産業省コト消費空間づくり研究会委員、URまちづくり支援専門家のほか、多くの自治体からアドバイザー委嘱を受け、『日経M J』や『商業施設新聞』にも記事を連載中であり、岩手県内においては、地方における都市開発の成功例として取り上げられる機会の多い紫波町の「オガール」や盛岡市の「盛岡バスセンター」などで、地域の素材や特徴を生かした開発実績がある。

取組内容・成果

●まちづくり研修会の取組

まちづくり研修会を開催し、職員が公民連携による市街地形成や地域経済の循環に関する最新の状況を受講し、その後ワークショップを行った。

これまでの行政にはない民間資金を活用して地域経済を活性化する手法により、奥州市未来羅針盤図の実現を図る。



●エリアマネジメントの取組

水沢市街地エリアを現地確認し、地域経済の好循環に資するまちなかイベントに関する課題や構想を協議した。

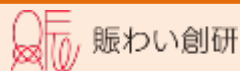
今後、水沢市街地や水沢江刺駅周辺におけるエリアマネジメントと食などの地域リソースを生かした地域経済の活性化に関するアドバイスを受けながら基本構想・計画を令和7年から8年にかけてまとめる予定。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(ホームページ) <http://www.aki-so.jp/>



株式会社賑わい創研 石川 孝

×



岩手県 奥州市

地域活性化起業人 基本情報



【年 齢】 46歳

【活動時期】 R6.9～ R9.8

【入社年度】 H30年入社
勤務年数7年（R6.9.1時点）

【派遣元企業での業務や培ったノウハウ等】

大手流通企業のWebデザイン作成、イベント主催、各種データリサーチ業務を手掛け、官民連携による地域創成を目的としたNIGIWAILABOを運営し、地方における賑わいプロデューサーとして松本大地氏と共に活動しながら多くの自治体での賑わい創出の実績があり、岩手県内においては、地方における都市開発の成功例として取り上げられる機会の多い盛岡市の「盛岡バスセンター」などで、地域の素材や特徴を生かした開発実績があるほか、国内各地においても、和歌山市の「キーノ和歌山」や福山市の「三之丸町1番地再生事業」など、市の参考事例となる取組を数多く手掛けている。

取組内容・成果

●まちづくり研修会の取組

まちづくり研修会を開催し、職員が公民連携による市街地形成や地域経済の循環に関する最新の状況を受講し、その後ワークショップを行った。

これまでの行政にはない民間資金を活用して地域経済を活性化する手法により、奥州市未来羅針盤図の実現を図る。



●エリアマネジメントの取組

水沢市街地エリアを現地確認し、地域経済の好循環に資するまちなかイベントに関する課題や構想を協議した。

今後、水沢市街地や水沢江刺駅周辺におけるエリアマネジメントと食などの地域リソースを生かした地域経済の活性化に関するアドバイスを受けながら基本構想・計画を令和7年から8年にかけてまとめる予定。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(ホームページ) <https://www.nigiwai.co.jp/>

地域活性化起業人 基本情報



【年 齢】 59歳

【活動時期】 R6.10～ R7.3

【入社年度】 S60年入社
勤務年数40年（R6.10.1時点）

【派遣元企業での業務や培ったノウハウ等】

40年間に渡り、ITシステムのOS開発を含むシステム基盤から業務基幹システムの提案～設計・構築に携わり、その組織運営までを経験してきました。その経験を活かし未来の稲作への橋渡しができる仕組み作りに向けた企画・検討を開始しています。

取組内容・成果

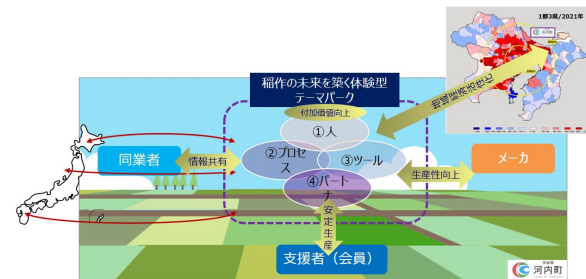
●取組内容：稲作文化体験施設（近々の企画）

まずは、伝統的な稲作の手法を体験できるエリアをつくります。参加者は手ぶらでいても、実際の田んぼで田植えや収穫から、食事をするまでの一連の体験をして食文化や自然への感謝を学ぶことができます。若者層に向けて「ゲームの世界からリアルな田んぼへ」を入口とした稲作体験を楽しめるような企画も検討中です。

●取組内容：稲作の専門家が育つ場の提供（中長期的な企画）

「日本のお米を守るために、稲作に関わるすべての人々の核になり、未来の稲作を技術と知識で支える場」となることを目指しています。

河内町は首都圏から最も近い稲作地帯です。その利点を生かして中長期的な視点で稲作の担い手を輩出するための仕組み作りしていきます。農業関連の企業と地域住民と連携しながら具体化していく予定です。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】茨城県河内町まちづくり推進課

(メールアドレス) machi@town.ibaraki-kawachi.lg.jp

(電話番号) 0297-84-6976

NTT docomo

株式会社NTTドコモ 榊原 拓磨

×



山梨県 丹波山村

地域活性化起業人 基本情報



【年 齢】 38歳

【活動時期】 R6.4～ R7.3 (予定)

【入社年度】 H21年入社
勤務年数15年 (R6.4.1時点)

【派遣元企業での業務や培ったノウハウ等】

- ・ モバイル端末／サービス知識、公共(自治体)業界知識
- ・ 高齢者向けICTサービスの商品企画開発・営業提案
- ・ 介護付き有料老人ホームでの常駐業務経験(約4か月間)
- ・ 高齢社会総合研究機構 (IOG) での研究活動 (2年間)
- ・ 自主応募型社内新規事業創出プログラム研修を通じたビジネス開発手法／プロセスのスキル習得

取組内容・成果

<地域が繋がる住民向け地域情報配信システムの企画、設計、構築、運用>

～LINE機能を中核とした住民向け地域情報配信システムの構築～

■【背景】村が抱える地域課題

- ・ 住民が村の最新情報を知らない
- ・ 村の情報がバラバラで情報把握が困難
- ・ ICTを使えない人がいる
- ・ 村内で交流できている住民は一部に留まる
- ・ 村の財政 (持続可能性)



村公認LINE「たばやまりんぼ」

■取組概要

<地域情報配信システム環境の構築>

1. “村公認LINE”の新規立ち上げ (≒非公式)
2. 村役場Webサイト連携 (ごみカレンダー)
3. 音声配信環境の立ち上げ／連携 (ラジオ)
4. ご意見／ご要望フォーム構築 (Google)

<運用：平日毎朝7時にLINE／ラジオ配信>

試験運用期間：R6.6.1～R6.8.21

本番運用期間：R6.8.22～現在

■実施成果

- ・ LINE友達登録者数85名 (R6.10.20時点) ※村の人口の約17%程度
- ・ LINE平均開封率83.4% (調査期間：R6.8.22～R6.9.19)

【村公認LINE実装機能】

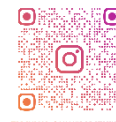
- ✓ カレンダー配信 (ごみ、色々月間イベント)
- ✓ 防災たばやま音読 (人の声)
- ✓ 村内電話帳 (店舗/施設等)
- ✓ 村の最新ニュース、イベント情報配信

連絡先

- メディア等の取材連絡先(メール)：digital_sakakibara-public@yahoo.co.jp
- 活動の様子を発信しているSNS等

ばらチャンネル (StandFM)
※丹波山村のニュース配信ラジオアプリ

X (旧Twitter)



Instagram



株式会社Specialist Entertainment

宇野 晋太郎

×



岐阜県 山県市

地域活性化起業人 基本情報



【年 齢】 33歳

【活動時期】 R6.6～

【入社年度】 2018年入社
勤務年数6年 (R6.10.29時点)

【派遣元企業での業務や培ったノウハウ等】

- ・ 大手上場企業におけるコンサルティング経験
- ・ 大手IT企業におけるプロジェクト進行管理、マネジメント経験

取組内容・成果

●山県市商工会議所DX業務

商工会長、商工会議所の職員さんと打ち合わせを重ね、課題抽出、スコープの策定。
慣習的に行われてきた業務を新たなITツールの導入を通じて効率化するサポートを行っております。



●山県市中小企業の課題リサーチ
→ソリューション提案業務

地元出身の人脈を活かして、フランクな立場から課題をリサーチしつつ、行政の立場を活かし、県内最大手の銀行、信用金庫、大学などと連携を進め、ソリューション提案から実行まで進めております。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) uno@oyce.co.jp (電話番号) 090-1270-6173



株式会社Specialist Entertainment

樋口 彩乃

×



岐阜県 山県市

地域活性化起業人 基本情報



【年 齢】 26歳

【活動時期】 R6.6～

【入社年度】 2023年入社
勤務年数1.5年（R6.10.29時点）【派遣元企業での業務や培ったノウハウ等】
・行政と連携したアントレプレナーシップ推進業務
・キャリア教育プログラム提案・実行業務

取組内容・成果

●キャリア教育推進業務

教育委員会の職員さんなどと打ち合わせを重ね、課題抽出、実施提案書を策定。
東京都の公立高校で導入しているキャリア教育プログラムを地域と結びつけ、山県市の魅力を生徒が理解し、自分ごとにできるように活動しています。



●グローバルリーダー育成推進業務

教育委員会の職員さんなどと打ち合わせを重ね、課題抽出、実施提案書を策定。
東京都の中高生向けに行っているプログラムを授業内で行えるように変更し、山県市の中学生がよりグローバルな目線を持ちやすい状態を作れるよう活動しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）higuchi@oyce.co.jp （電話番号）080-9773-3058



株式会社リブル 早川 尚吾

×



沖縄県 北中城村

地域活性化起業人 基本情報



【年 齢】 37歳

【活動時期】 R6.10～R7.3

【入社年度】 H30年創業
勤務年数6年（R6.4.1時点）

【派遣元企業での業務や培ったノウハウ等】

- ・シングルシード方式による真牡蠣養殖技術
- ・牡蠣養殖支援システム（OYSMART）
- ・三倍体牡蠣の人工種苗生産技術
- ・養殖作業計画の策定支援
- ・プロジェクトマネジメント、資金調達等

取組内容・成果

●副業型地域活性化起業人委嘱状交付式

令和6年10月1日付で着任し、同月7日北中城村役場にて委嘱状の交付が行われました。村では漁業者の所得向上と新たな養殖業の展開を目的に、村美崎地先にあるアーサ（おおさ）養殖場の一区画で株式会社リブルが持つIOTスマート牡蠣養殖技術の実証実験を行います。



●真牡蠣養殖実証事業開始

真牡蠣養殖の実証実験では約2000個の稚貝を専用のバスケットで育てる手法（シングルシード方式）を用いて大事に育成し、令和7年3月の水揚げを目指します。今回地元の漁業組合と連携し実証事業に取り組めます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（メールアドレス） m-tanahara@vill.kitanakagusuku.lg.jp

（電話番号） 098-935-2260

【派遣元企業の担当者連絡先】

（メールアドレス） s-hayakawa@reblue-k.com

（電話番号） 0884-70-5888